

製品安全データシート
【1 製品名及び会社情報】

会社 株式会社バイオダイナミクス研究所
住所 東京都文京区本郷2-9-7
担当部門 製品管理係
FAX 03-5684-6270

商品コード DM637

【製品名】DynaMarker Protein MultiColor III

【2 組成、成分情報】

試験研究用試薬

混合物

化学名：ドデシル硫酸ナトリウム

以下、該当する単一成分のMSDSを記載する。

作成平成25年 10月15日

【1 化学物質等】

試験研究用試薬

化学名：ドデシル硫酸ナトリウム

【2 組成、成分情報】

単一成分

化学式：C₁₂H₂₅O₄S・Na 既存化学物質番号：(2)-1679

分子量：288.4

CAS No.：151-21-3

【3 危険有害性の要約】

危険性

1. 可燃性固体。

有害性

◇吸入した場合…

1. 有害である。
2. 呼吸器への刺激の恐れ。(咽頭痛、咳)

◇皮膚に触れた場合…

1. 有毒である。
2. 皮膚炎を起こすことがある。(発赤)

◇眼に入った場合…

1. 有害である。
2. 強い眼刺激。(発赤、痛み)

◇飲み込んだ場合…

1. 有害である。(吐き気、嘔吐、下痢)

◇燃焼生成ガス…

1. 一酸化炭素。
2. イオウ酸化物。

【4 応急措置】

吸入した場合： 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
空気の新鮮な場所に写し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。

皮膚に付着した場合： 多量の水と石鹼で洗うこと。
直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐこと、取り除くこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる
場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

【5 火災時の措置】

ガスや粉塵、蒸気やミストを吸入しないよう十分注意すること。

消火剤：水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類。

使ってはならない消火剤：棒状放水

消化を行う者の保護：適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

特有の危険有害性：熱、火花及び火炎で発火する恐れがある。激しく加熱すると燃焼する。

特有の消化方法：危険でなければ火災区域から容器を移動する。安全に対処できるならば着火源を除去する。

【6 漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置：

全ての着火源を取り除く。直ちに、全ての方向に適切な距離を漏えい区域として隔離する。関係者以外の立ち入りを禁止する。密閉された場所に立ち入る前に換気する。

環境に対する注意事項：環境中に放出してはならない。

MSDS637

回収・中和：漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
封じ込め及び洗浄方法・機材二次災害の防止策：
水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。全ての発火源を速やかに取り除く。プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

【7 取扱い及び保管上の注意】

取扱い：保護眼鏡、呼吸用保護具（送気マスク等）、保護手袋、保護衣等を着用すること。操作後は手を洗うこと。眼の洗浄、シャワーによる体の洗浄を推奨する。長期並びに繰り返しての被曝を避ける。みだりにガスや粉塵、蒸気やミストを発生させないようにする。皮膚に触れたり、ガスや粉塵、蒸気やミストを吸入しないこと。
保管：容器を密閉して冷乾所に保存すること。熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から離して保管すること。禁煙。施錠して保管すること
その他、該当する法令の定めるところに従い、取扱い及び保管する。

【8 暴露防止措置】

許容濃度：データなし
設備対策：密閉された装置、機器又は局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具：保護眼鏡、呼吸用保護具（送気マスク等）、保護手袋、保護衣、保護長靴、顔面シールド等。

【9 物理的及び化学的性質】

外観等：個体、特異臭。
融点：204℃。：ICSC（J）（2008）
溶解性：水：15g/100ml：ICSC（J）（2008）
オクタノール・水分分配係数：log P=1.6：ICSC（J）（2008）

【10 安定性及び反応性】

引火点：>100℃
避けるべき条件：燃焼
混触危険物質：強酸化剤や強酸
可燃性。燃焼すると分解し、一酸化炭素やイオウ酸化物を含む有毒で腐食性ガスを生じる。強酸化剤や強酸と反応する。

【11 有害性情報】

吸入したり、飲み込んだり、皮膚から吸収すると有毒の可能性がある。刺激性の可能性がある。眼、皮膚、衣類への接触を避けること。長期並びに繰り返しての被曝を避けること。
急性毒性：
ラット-経口-LD50 1,200mg/kg：SIDS
ウサギ-経皮-LD50 600mg/kg：SIDS
催奇形成：データなし。

【12 環境影響情報】

水生生物に対して毒性あり。：ICSC（J）（2008）
甲殻類（アメリカンロブスター）-LC50（96時間）0.72mg/L：SIDS

【13 廃棄上の注意】

本品を廃棄する際には、国、都道府県並びにその地方の法規、条例に従うこと。廃棄処理中に皮膚に触れたり、ガスや粉塵、蒸気やミストを吸入しないよう十分注意すること。
例）可燃性の溶媒に溶解又は混和し、アフターバーナー及びスクラパーを備え付けた燃焼炉の火気室へ噴霧し、焼却する。

【14 輸送上の注意】

運送に際しては、容器の漏れがないことを確認し、転倒・落下・損傷がないように積み込み、荷崩れを防止すること。その他、該当する法令の定めるところに従うこと。

【15 適用法令】

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）、等。

【16 その他の情報】

参考資料

- 1) THE MERCK INDEX 13TH. EDITION
 - 2) 化学物質等安全データシート（MSDS）第1部：内容及び項目の順序 JIS Z 7250
 - 3) GHSモデルラベル・SDS情報 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP
 - 4) 安衛法名称公表化学物質等 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP
 - 5) 化学物質総合情報提供システム（CHRIP） nite（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）HP
 - 6) 国際化学物質安全性カード（ICSC）日本語版 国立医薬品食品衛生研究所（NIHS） HP
 - 7) OECD：CCAP-SIAP/ITAP日本語訳
JETOC（一般社団法人 日本化学物質安全・情報センター） HP
 - 8) SIDS INITIAL ASSESSMENT PROFILE on (SDS) UNEP HP
- ◆危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意して下さい。
◆本データシートは情報を提供するもので、記載内容を保証するものではありません。
◆表記の試験研究用試薬以外には、本データシートを適用しないで下さい。
◆輸送中、保管中、廃棄後も含めて、内容物や容器が、製品知識を有しない者の手に触れぬよう、厳重に注意して下さい。